

朝倉氏略年表

- 建武元(1334)年 斯波高経、越前守護となる。
- 延元2(1337)年 朝倉広景、高経に従い但馬より越前へ入国する。
- 貞治5(1366)年 朝倉高景、越前で7ヶ所の地頭職を得る。
- 長祿3(1459)年 朝倉孝景(戦国初代)、守護派と守護代派による和田合戦で、守護代方として奮闘。守護代方が勝利する。
- 応仁元(1467)年 応仁の乱始まる。孝景、西軍に加わり活躍。
- 文明3(1471)年 孝景、東軍へ寝返り、越前守護職について認められる。
- 文明7(1475)年 孝景、甲斐氏を追放し越前を平定する。
- 文明13(1481)年 孝景没し、氏景(戦国2代)つく。
- 文明15(1483)年 氏景、越前守護代となる。
- 文明18(1486)年 氏景没し、貞景(戦国3代)つく。
- 永正9(1512)年 貞景没し、孝景(戦国4代)つく。
- 天文17(1548)年 孝景没し、義景(戦国5代)つく。
- 永祿8(1565)年 松永久秀ら、將軍足利義輝を殺害。
- 永祿10(1567)年 足利義秋、朝倉氏を頼り一乗谷安養寺へ。
- 永祿11(1568)年 義秋、元服し義昭と名乗るが、織田信長を頼り一乗谷を去る。信長、義昭を奉じて上洛。
- 元龜元(1570)年 信長、越前に侵攻し朝倉氏と対立。朝倉・浅井連合軍が、近江姉川で織田・徳川軍を破り京へ進攻するも、和議・調停がなる。
- 元龜3(1572)年 信長、近江の浅井長政を攻め、義景が救援。
- 天正元(1573)年 信長、將軍義昭を追放、室町幕府は事実上滅亡。義景、浅井氏救援に近江へ進出するも、敦賀刀根坂の戦いで信長軍に敗れる。義景、一乗谷を放棄し大野に逃れ自刃。朝倉氏は滅亡、一乗谷は信長軍が放った火により焼亡する。

お土産はこれ!

華やかな城下町を偲ぶ「朝倉スイーツ」



曲水菊 (製造・販売「榮太楼」 TEL.0776-22-1994)

義景が催した優雅な歌遊び「曲水の宴」にちなんだ和三盆の干菓子。国の特別史跡指定を記念して作られました。

朝倉ものがたり (製造・販売「あまとや」 TEL.0776-36-2719)

將軍足利義昭が、義景のもてなしを受けた際に詠んだ「系桜の歌」にちなんだ焼菓子です。中には、香り豊かなさくら餡がたっぷり。

朝倉館もち (製造・販売「松田阿ん古ろ」 TEL.0776-53-0529)

戦国時代の素朴な味をイメージした餅菓子。醤油味の生地の中には、ザクザク歯ごたえ充分のクルミと、柚子の風味が詰まっています。

※一乗谷朝倉氏遺跡復原町並りの売店などで購入できます。

バス、電車はかなり少なめ…(泣)。タクシーだと、JR福井駅前から約20分。ちょっと不便かもしれないけど、来訪の価値あり!



- 交通機関**
- 電車/JR福井駅(越美北線)→(電車15分)一乗谷駅下車 資料館まで徒歩5分(資料館に無料貸出自転車あり)
 - バス/京福バス福井駅前乗り場⑨(東郷線)→(バス25分)朝倉氏遺跡資料館前
 - 自動車/北陸自動車道福井IC→国道158号線→(ICから車10分)朝倉氏遺跡
東海北陸自動車道白鳥西IC→国道158号線→(ICから車60分)朝倉氏遺跡

県内の公共交通機関の情報は、「ばす・でんしゃナビふくい」をご覧ください。



[発行]
一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会
(事務局 福井県教育庁文化課)
福井市大手3丁目17-1
TEL.0776-20-0580

もっと朝倉氏を知りたいときは、こちら

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館 TEL.0776-41-2301
HP: <http://www.pref.fukui.jp/doc/asakura/index.html>

福井市一乗谷朝倉氏遺跡管理事務所 TEL.0776-41-2173
社団法人朝倉氏遺跡保存協会 TEL.0776-41-2330
HP: <http://www3.fctv.ne.jp/asakura/>

「京の都以上」と言われた栄華の証! 一乗谷の「茶の湯」と「菓子」

「特別史跡 一乗谷朝倉氏遺跡」からは、高価な唐物の茶器が出土し、「茶の湯」が盛んだったことがうかがえます。当時の大名にとって茶道具はいわばステイタスシンボル。宗滴が、天下一名物「九十九髪茄子茶入」を、義景が、屈指の秀作「本能寺文琳」(後に織田信長が所持)を所持していたことから、朝倉氏がいかに栄華を誇っていたかがわかります。

茶席といえば、当時は政事等の密談の場だったともいわれますが、まずは世俗を離れ、静謐な空間で茶の湯を楽しんでいたようです。

寺社の門前で、大衆に安価なお茶を出していたのが「担い茶屋」。復原町並では、この茶屋を「いっぶく茶屋」として再現しています。

ところで、お茶には「お菓子」が付きもの。しかし、甘い菓子は南蛮貿易で砂糖の輸入が始まってから発達したと考えられ、朝倉氏の頃の茶席は“甘いもの抜き”だったようです。

また、『朝倉義景亭御成記』の「もてなしのメニュー」で「お菓子」として記されているのは、栗やクルミ、

柿などの果実、椎茸、昆布。今と異なり、素朴な自然食だったのです。



復原町並の「いっぶく茶」(お菓子付き400円)はこちらどうぞ。
営/9:00~16:30



注目!!
現代版「いっぶく茶屋」のお菓子は「ここだけ」の特注品!



- 交通アクセス**
- 東京から
J R/東海道新幹線・北陸線特急…約3時間30分
飛行機/羽田-小松空港-福井(バス)…約2時間
自動車/東名・名神・北陸自動車道…約6時間30分
 - 大阪から
J R/湖西線特急…約1時間50分
自動車/名神・北陸自動車道…約3時間
 - 名古屋から
J R/北陸線特急…約2時間
自動車/名神・北陸自動車道…約2時間
東海北陸自動車道白鳥IC経由…約3時間

もっと福井を知りたいときは、こちら

福井県観光情報「ふくいDOTCOM」
HP: <http://www.fuku-e.com/>

福井市の観光情報を発信「ふくいCityナビ」
HP: <http://www.fukuicity-navi.com/>

